



## 令和4年8月4日前線による大雨での 手取川・梯川の出水概要並びに金沢河川国道事務所の対応について

- 令和4年8月4日未明から夕方にかけて雷を伴う猛烈な雨が降り、前線停滞の影響により石川県内で大雨となりました。このため金沢河川国道事務所では、防災体制を発令し関係機関と連携をとりながら対応にあたりましたので、出水概要、金沢河川国道事務所の河川関係の対応、治水事業の効果についてとりまとめました。
- 梯川埴田水位観測所では、昭和47年1月の観測開始以来、史上最高水位を記録し、小松市埴田町地先では、堤防からの越水が発生しました。
- 手取川においても鶴来水位観測所では観測史上5位の水位となるなど、近年まれに見る水位上昇となりました。
- これらの取りまとめ結果について、本日31日14時より当事務所ホームページに掲載致しますのでお知らせします。

### 【出水概要・河川関係の対応の主なポイント】

- 手取川では鶴来水位観測所（白山市鶴来<sup>つるぎ</sup>大国町）において、平成10年9月洪水以来に氾濫危険水位を超過し、観測史上5位の水位を記録。
- 梯川では、埴田<sup>はねだ</sup>水位観測所（小松市埴田<sup>はねだ</sup>町）において、これまで最大であった平成25年7月洪水（5.23m）を上回る観測史上最高の水位（5.90m）を記録し、10.2k付近の堤防で越水が発生。
- 梯川の沿川では内水による浸水が発生、小松市の要請により排水ポンプ車及び照明車を出動させ、緊急排水活動を実施。

### 【治水事業の効果】

- 梯川における引堤事業により、今回洪水では7.0k地点において堤防から洪水が溢れ出すことを防止。
- 梯川と支川前川の合流部の前川排水機場では木場潟約9杯分の約1100万m<sup>3</sup>の排水を実施、浸水被害の拡大を防止。
- 手取川ダムの防災操作によってダム地点で最大約1,690m<sup>3</sup>/s流量を貯留し、下流の水位低減を図った。

詳細については、金沢河川国道事務所ホームページに掲載しました。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>



### 【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
調査第一課長 氏名 廣瀬 昌宏  
T e l : 076-264-9910 (調査第一課 直通)